

## 令和2年度（2020年度）第10回教育委員会（11月定例会）議事録

- 1 日時 令和2年（2020年）11月6日（金）  
午前9時30分から午前10時40分まで
- 2 場所 教育委員会室（県庁行政棟新館7階）
- 3 出席者 教育長 古閑 陽一  
委員 吉井 恵璃子  
委員 櫻井 一郎  
委員 田浦 かおり  
委員 田口 浩継
- 4 議事等
  - (1) 議案  
議案第1号 令和3年度（2021年度）県立特別支援学校高等部等の募集定員について  
議案第2号 令和2年度（2020年度）熊本県教育功労（優秀教職員）表彰について  
議案第3号 県立体育施設指定管理候補者の選定について
  - (2) 報告  
報告（1） 鏡わかあゆ高等支援学校及びかもと稲田支援学校の校章決定について

## 5 会議の概要

- (1) 開会（9:30）  
教育長が開会を宣言した。
- (2) 議事録署名委員の選出  
教育長が田口委員を指名し、了承された。
- (3) 会議の公開・非公開の決定  
教育長の発議により、議案第2号から議案第3号は人事案件のため非公開とした。
- (4) 議事日程の決定  
教育長の発議により議案第1号、報告（1）を公開で審議し、非公開で議案第2号から議案第3号を審議した。
- (5) 議事  
○議案第1号 「令和3年度（2021年度）県立特別支援学校高等部等の募集定員について」

### 特別支援教育課長

特別支援教育課です。議案第1号「令和3年度（2021年度）県立特別支援学校高等部等の募集定員について」御説明します。

お手元の資料1ページを御覧ください。提案理由ですが、県立特別支援学校高等部等の募集定員については、熊本県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則及び熊本県立特別支援学校学則の規定により、教育委員会で定める必要があるためです。

続いて資料4ページを御覧ください。

「1 募集定員の定め方」について御説明します。県立特別支援学校高等部等の募集定員については、県内の公立中学校特別支援学級等及び特別支援学校の中学部3年生を対象に進路希望調査を実施します。その結果と、各特別支援学校の施設の受け入れ状況や地域性等を踏まえて、特別支援学校のニーズが高まっている中、希望者が可能な限り希望する当該障がい種の特別支援学校に入学できるように定めています。進路希望調査の結果を踏まえて定員を定めていますので、年度によって希望者が少ない学校については募集定員を減らしたり、多い学校については施設設備が許す範囲で定員を増やしたりするような実状です。

それでは、2ページと3ページを御覧ください。

まず、この表の見方について御説明します。左縦列ですが、特別支援学校が対象として行う障がい種は、5つの障がいがあり、視覚障害から並べています。縦列2番目はそれぞれの教育を行う学校名、その次に本科と専攻科という記載があります。特別支援学校高等部には本科と専攻科があり、専攻科は、高等学校及び高等部卒業を入学要件として設けていますので、いわゆる社会人や中途の障がいのある方も専攻科に入るといったようなことがあります。

次に学科です。一般学級、重複学級、訪問教育、それから職業教育を行う学校については、園芸や工芸など学科名を記載しています。

募集定員を策定するに当たっては、1学級の人数については国の規定で、単一の障がいの一般学級については、1学級8人を原則としており、障がい種が2つ以上重複する生徒については、手厚い教育が必要なことから1学級3人の定員となっています。障がい種がより重たく、学校に通学して教育を受けることができず、教員が自宅や病院を訪問して教育を行う訪問教育についても1学級3人の規定です。

今、御説明しました一般学級8人という定員のことですが、特に希望が多い知的障がい者に対する教育を行う学校については、昨年度まで施設の受け入れの実状を踏まえ、必要に応じて1学級当たり10人を受け入れ、可能な限り不合格者を出さないように教育保障を行うという配慮を行ってきました。次年度については、新しい学校が2校開校し、その後についても整備を進める計画が進んだことから、一般学級は1学級8人の定員とし、一人一人に応じた教育の充実を図ることとします。

そして、昨年度からの主な変更点は、※印を付けている「鏡わかあゆ高等支援学校」、「かもと稲田支援学校」の2校が新規に開校することに伴うものです。「鏡わかあゆ高等支援学校」は、現在の松橋支援学校高等部専門学科と旧氷川高校の校舎で教育を行っている氷川分教室、この2ヶ所を移管して来年度新しく開校する学校です。現在の学級数と比較しますと、現在の専門学科は2学級ですが、来年度新しい学校では5学級になり、一般学級は、現在2学級が3学級に拡大することになります。また、「かもと稲田高等支援学校」は、現在の菊池支援学校高等部山鹿分教室が看板を変えての移管ということになります。規模は、昨年度と同様で拡大はありません。

以上が昨年度との変更点です。付け加えて御説明しますと、一般学級の募集定員は8人ですので、8の倍数が並んでいるかと思えます。重複障がい学級については、先ほど3人と御説明しました。3の倍数になっていないのは、在校生も含めて3人で1学級を編成するため、在校生の数を減じた数になるからです。

それから3ページは、幼稚部を設置している盲学校・熊本聾学校・松橋東支援学校の3歳児、4歳児、5歳児の募集定員の記載をしています。

それでは、4ページに戻っていただき、高等部の募集定員の総括、概要を御説

明します。学校ごとに設定しました募集定員をまとめたものであり、高等部の募集定員の合計は、495人ということになります。それから、幼稚部の募集定員の概要については、34人ということで昨年度と変化はありません。高等部と幼稚部の募集定員の総合計は、529人ということで、昨年度の528人から1人増になっています。

なお、本日の募集定員について御決裁いただければ、県立以外の、熊本市立の特別支援学校と八代市立の特別支援学校の定員、こちらは当該の教育委員会が定員を定めていますが、2校の情報も併せて報道機関に資料として提供する予定です。

以上です。御審議をよろしく申し上げます。

#### 教育長

ただ今の説明について、御質問等がありましたらお願いします。

#### 田口委員

4ページのところですが、「進路希望調査」を踏まえて毎年度の募集定員を決定されているということ、それぞれの地域に支援学校を作っていることは、非常に良い取り組みだと思います。できるだけ自宅から通える、そして希望どおりに入学できるというシステムはとても良いと思います。

現在のところ、希望者については100パーセントの方が入学されているという理解でよろしいですか。

#### 特別支援教育課長

本県では、入試日を特別支援学校は2段階設けていて、1月に実施をする学校が2校あります。「ひのくに高等支援学校」と「鏡わかあゆ高等支援学校」の専門学科が他校に先立って検査を行います。

2校については、ニーズが非常に高く、不合格者を出さざるを得ない状況です。

しかしながら、不合格になった子どもについては、その後、2校以外の学校が3月に改めて高等部一般学級等で試験を行いますので、そこで全ての子ども達が、いずれかの学校に入学をすることになっています。

#### 教育長

他に何か御質問等ありますか。

では、この件については原案どおり可決してよろしいですか。

(委員了承)

#### 教育長

ありがとうございます。

○報告(1) 「鏡わかあゆ高等支援学校及びかもと稲田支援学校の校章決定について」

#### 特別支援教育課長

特別支援教育課です。鏡わかあゆ高等支援学校及びかもと稲田支援学校の校章が決定しましたので、御報告します。

お手元の資料下段の表を御覧ください。令和3年4月に開校します、鏡わかあゆ高等支援学校及びかもと稲田支援学校の校章デザインを、県教育委員会のホームページや関係諸学校への通知をとおして広く募集したところ、鏡わかあゆ高等支援学校が600点、かもと稲田支援学校が310点、合わせて910点もの校章デザイン案が寄せられました。県立学校からも751点の応募がありました。

それぞれ別々に、各開校準備室で1次審査を行い、18案に絞り込みを行いま

した。18案を基に、新校へ転入する生徒が在籍しています松橋支援学校及び菊池支援学校の児童生徒・保護者・職員等で最終投票を行い、資料上段にありますように各学校の校章が決定しました。

それぞれの校章に込めた願いについても掲載していますが、学校目標等をしっかりと踏まえて素晴らしいデザインを作っていただいています。両校とも偶然ですが、熊本デザイン専門学校の1年生の方が採用になっています。それぞれの校章に込めた願いを実現すべく、引き続き開校へ向けての準備を進めているところです。

今後も皆様の温かい御支援・御協力をよろしく申し上げます。

報告（1）は以上です。

#### **教育長**

ただ今の説明について、御質問等がありましたらお願いします。

#### **吉井委員**

このデザインを見たときは、本当に綺麗なデザインの校章ができたと思いました。とても素敵で、デザインの意図、願いもよく理解できます。良いものができたので、大事にしていければと思います。ありがとうございました。

#### **田口委員**

最優秀賞以外にも様々な賞を設定されているのですか。

#### **特別支援教育課長**

最優秀賞の次に、優秀賞を設定しています。賞状やお礼のメッセージについては、それぞれ申し込みいただいた関係機関には、開校準備室から丁寧にお返ししているところです。

#### **田口委員**

いろいろな校種の方が応募してくださっているので、良ければそういう方々にも何か賞があると良いと思いました。

#### **特別支援教育課長**

承知しました。ありがとうございます。

#### **教育長**

他に何かありますか。よろしいですか。

#### **6 次回開催日**

教育長が次回の定例教育委員会は令和2年（2020年）12月14日（月）教育委員会室で開催することを確認した。開催時間は、午前9時30分から。

#### **7 閉会**

教育長が閉会を宣言した。午前10時40分。